

魅力いっぱい!

GYODA

埼玉県

行田



お出かけガイド



JAPAN HERITAGE
日本遺産



見どころをご案内!

行田の名所めぐり

豊かな色彩で見る人の心を癒す

はなちようず

花手水week

観光マップ C-2, D-2

【開催日時】毎月1日～14日(11月と1月は15日～末日まで ※8月は開催なし) 【開催場所】忍城址、行田八幡神社、忍城及び行田八幡神社周辺エリアの商店や民家、前玉神社、観光物産館ぶらっとりぎょうだ ②行田市役所、行田市商工センター、忍城バスターミナル、行田八幡神社第2・3・4、前玉神社(すべて無料)



ライトアップイベント「希望の光」

【開催日時】毎月第1土曜日(11月と1月のみ第3土曜日 ※8月と1月は開催なし) 日没後～20時(時期により前後する場合は有) 【開催場所及び②】「花手水week」と同じ



2020年春は自粛生活が続くなど苦しい時期でしたが、そうした時にも「参拝に訪れる方々に癒しを提供したい」という思いから、同年4月から行田八幡神社で花手水が始まりました。この取り組みは市内の前玉神社にも広がり、さらには、花手水を楽しみに訪れる方々に地域全体でおもてなしをしたいという思いから、同年10月から神社だけでなく、商店や民家の軒先にも花手水を飾る「花手水week」を毎月1日～14日の期間限定で開催しています。そして、2021年4月からは「希望の光」をテーマにライトアップイベントも開催しています。

忍藩十万石の面影残る名城

おしじょう 忍城

行田市郷土博物館／行田市本丸17-23
TEL.048-554-5911 【料金】一般 200円 大学・高校生 100円 中学・小学生 50円 ②61台 【開館時間】9:00～16:30(入館受付は16:00まで) 【休館日】月曜日(祝日、休日を除く)、祝祭日の翌日(土・日は開館)、毎月第4金曜日(テーマ展・企画展開催中は開館)、年末年始

観光マップ C-2



関東七名城のひとつである忍城は、室町時代にあたる15世紀後半に成田氏により築城されました。戦国時代の終わりに、豊臣秀吉の関東平定に際し、石田三成らによる水攻めを受けたストーリーは、小説「のぼうの城」で描かれ、映画でも注目されました。忍城御三階櫓の内部は郷土博物館の展示室の一部となっていて、最上階からは市内が一望できます。

約千年の歴史を有する忍城下の守り神

ぎょうだ はちまんじんじや

行田八幡神社

観光マップ D-2

行田市行田16-23 TEL.048-554-5926 ②普通車106台、大型車2台
【祈願受付時間】10:00～12:00 / 13:00～16:00
※参拝は終日可能です

行田八幡神社は、「封じの宮」と称され、子供の夜泣きやかんの虫を封じる虫封じをはじめ、癌の病、難病や悪癖の封じ、お年寄りのぼけ封じなどの封じ祈願が秘法として継承されています。境内には「目の神社」をはじめ、湿疹・美肌の神「瘡守稻荷社」、忍城七福神「大国主神社」などが祀られています。近年は「なで桃」がパワースポットとして知られ、病難・災害避けの神としても有名です。



奇跡の再生を果たした可憐な花蓮の名所

古代蓮の里



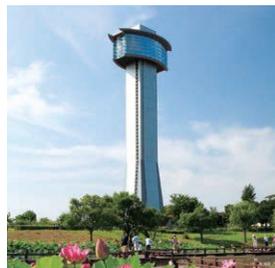
古代蓮会館 / 行田市小針2375番地1 TEL.048-559-0770
【料金】大人(高校生以上) 400円 小人(小・中学生) 200円
P490台【開館時間】通常期(6月下旬～8月上旬以外) 9:00～16:30(入館受付は16:00まで)、蓮の開花期(6月下旬～8月上旬) 7:00～16:30(入館受付は16:00まで)【休館日】月曜日(祝日・休日を除く)、祝祭日の翌日(土・日は開館)、年末年始 ※蓮の開花期(6月下旬～8月上旬)は無休



世界最大の田んぼアート



ここ行田で永い眠りから目を覚ました行田蓮(古代蓮)の神秘的な美しさを満喫できる公園です。園内では、6月下旬から8月上旬にかけて、42種類約12万株の花蓮が池一面に咲きます。また、7月中旬から10月中旬には、園内にある「古代蓮会館」の展望室より、水田をキャンバスとして文字や絵柄などを表現する田んぼアートを楽しむことができます。



古代蓮会館 展望タワー

古代の風が吹き抜ける東日本最大の古墳群

さきたま古墳公園



県立さきたま史跡の博物館 / 行田市埼玉4834 TEL.048-559-1111 【料金】一般200円 高校生・学生 100円 小・中学生 無料 P普通車303台、大型車33台【開館時間】9:00～16:30(入館受付は16:00まで) ※7月1日～8月31日は 9:00～17:00(入館受付は16:30まで)【休館日】月曜日(祝日、振替休日、県民の日(11月14日)、4月29日～5月5日は開館)、年末年始



県立さきたま史跡の博物館

埼玉県名発祥の地、行田市大字埼玉さいたまにあり、5世紀後半から7世紀はじめころまでにつくられた9基の大型古墳が群集している公園です。令和2年に国の特別史跡に指定されました。園内には、国宝「金錯銘鉄剣」などが展示されている「県立さきたま史跡の博物館」や、はにわ作り体験ができる「はにわの館」などがあります。



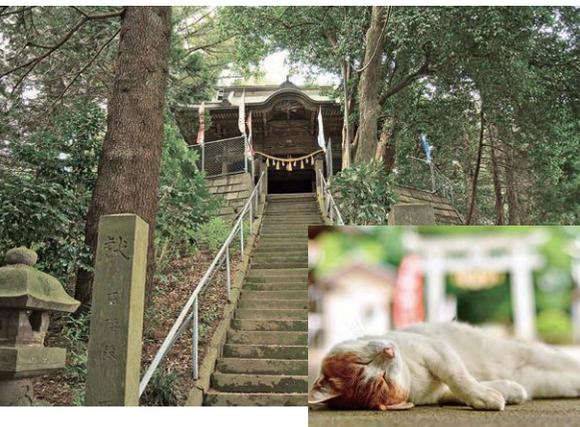
埼玉県名の発祥となった由緒ある古社

前玉神社



行田市大字埼玉5450 TEL.048-559-0464 P20台
【祈願受付時間】9:30～16:00 ※参拝は終日可能です

前玉神社は千数百年の歴史を持つ、荘厳で落ち着いた雰囲気のある古社であり、埼玉県名発祥の神社です。社殿は高さ8.7m、周囲92m程の浅間塚と呼ばれる古墳上に建てられています。御祭神は前玉比売神・前玉彦命の二柱で、人の身を守り、幸福をもたらす神様であり、縁結びの神様でもあります。近年は、境内に暮らしている4匹の猫をモチーフにした限定御朱印(毎月22日を含む前後数日)が人気を集めています。



いろいろなお店の味を楽しもう♪

フライ&ゼリーフライ

お好み焼き風の「フライ」と、ジャガイモとおからの
コロケ風「ゼリーフライ」は、行田自慢の伝統の味。
行田名物としてテレビや雑誌に度々登場！

甘くはないぜ！



ゼリーフライ

フライと名前は似ていますが、「ゼリーフライ」は全く違う食べ物。お菓子のゼリーとも全く別物。衣のついていないコロケといった風情のもので、そのルーツは、日露戦争の時、中国から伝わった「野菜まんじゅう」ということです。ジャガイモやネギ、にんじん、さらにたくさんおからが入っているのも特徴で、食物繊維が豊富でヘルシー。おいしくダイエットできることうけあい。

その名の由来は、小判形であることから「銭フライ」だったらしい。「銭」がなまって「ゼリーフライ」になったとか。



油で揚げていないのには...?

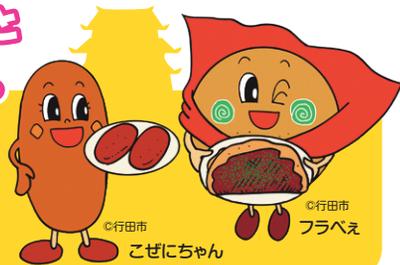
フライ

行田でいう「フライ」とは、小麦粉を水でやわらかく溶き、鉄板の上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、好みでソースまたは醤油だれをつけて食べるもの。クレープのようにふわりとした舌ざわりのお好み焼きのようなものです。

大正時代末頃、タバコを売りながらフライを売っているお店があったそうです。以後、安くて持ち運びが便利なお店、腹もちがよいこともあって、行田で昭和初期に全盛期をむかえた足袋工場で、働く女工さんの間でおやつとして大ヒットし、販売する店が増え、現在でも20軒以上の店が営業しています。

こぜにちゃんとフラベえです。

行田ゼリーフライがモチーフの「こぜにちゃん」、行田フライがモチーフの「フラベえ」。2人力を合わせてゼリーフライ、フライの全国ブランド化計画を推進中です！



行田周辺は足袋の原料となる木綿や青綿の産地で、江戸時代の後半には足袋が特産品として知られていました。

明治時代になるとミシンが使われるようになり、足袋の生産量は増大しました。また銀行等が設立され資金が安定し、ミシンの動力化も進んで、名実ともに行田の足袋は日本一となりました。昭和13年の足袋生産量は8,400万足で、全国生産のおよそ8割を占めていました。

「行田足袋」は令和元年に国の伝統的工芸品に、郷土博物館所蔵の「行田の足袋製造用具及び関連資料」は令和2年に国の重要有形民俗文化財に指定されました。



足袋とくらしの博物館

全盛期の行田の足袋工場の様子を再現した館内で、足袋づくりの実演見学などができます。

行田市行田1-2 TEL.048-552-1010

【料金】200円 (小学生は100円)

【開館時間】10:00~16:00 【開館日】土・日のみ

日本遺産のまち行田

JAPAN HERITAGE GYODA

行田市は日本一の足袋生産地として知られ、足袋産業全盛期を偲ばせる足袋の倉庫「足袋蔵」が今も数多く残る「足袋蔵のまち」です。表通りに土蔵造の見世蔵が続く蔵のまちは各地にありますが、行田はそうした蔵のまちは異なり、足袋蔵のほとんどが裏通りに建てられています。蔵の作りも、石造、煉瓦造、モルタル造、鉄筋コンクリート造、木造と多彩です。これらの足袋蔵を含めた行田の文化が、埼玉県初の日本遺産に認定されました。



足袋蔵まちづくりミュージアム

秩父鉄道行田市駅最寄りの観光案内施設です。観光情報の提供のみならず、特産品の紹介も行っています。(NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク運営)

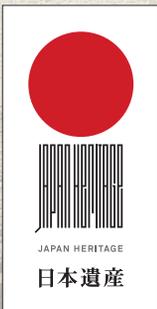
行田市行田5-15 TEL.048-552-1010

【開館時間】

10:00~16:00

【開館日】毎日

(12/29~1/3,8/13 ~8/16は休館)



和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田

行田市の イベント・季節の花カレンダー

	ろうばい (古代蓮の里)	1月	初日の出 (古代蓮会館 展望タワー)	
	梅 (古代蓮の里)	2月		
	桜 (忍城・水城公園・古代蓮の里・さきたま古墳公園ほか)	3月		
	古代蓮 (古代蓮の里)	4月	鉄剣マラソン (古代蓮の里) 行田春まつり (水城公園)	
	ホテイアオイ (水城公園)	5月	さきたま火祭り (さきたま古墳公園)	
	紅葉 (遍照院・水城公園)	6月	蓮まつり (古代蓮の里) 浮き城まつり (県道128号)	
		7月	とうろう流し納涼大会 (忍川翔栄橋)	
		8月		
		9月		
		10月	菊花展 (行田市郷土博物館入口)	
		11月	鮭の遡上 (大堰自然の観察室) 商工祭・忍城時代まつり (忍城周辺)	
		12月	酉の市 (愛宕神社)	

観光案内施設のご案内

観光マップ C-2 観光物産館 ぶらっと♪ぎょうだ



行田ならではの素材を生かした特産品や、行田足袋、南河原スリッパ、地酒などを取り揃えている観光物産館です。

〈サービス〉

- ・観光案内
- ・土産販売
- ・観光レンタサイクルの貸出、返却
- ・無料Wi-Fi
- ・授乳室

行田市忍2-1-8 (行田市商工センター1階) TEL.048-554-1036
【開館時間】9:30~17:00 【開館日】毎日(12月29日~1月3日は休業)



いつでも旬な情報をお届け! 行田市の観光のことなら

公式観光サイト **行田市観光NAVI**

<https://www.gyoda-kankoukyoukai.jp>

観光マップ C-2 忍城バスターミナル観光案内所



〈サービス〉

- ・観光案内
- ・土産販売
- ・観光レンタサイクルの貸出、返却
- ・無料Wi-Fi

行田市本丸3-5 TEL.048-554-8820
【開館時間】9:30~16:30※冬期(12月1日~2月末)は10:00~16:00【開館日】毎日(12月29日~1月3日は休業)

観光マップ A-5 JR行田駅前観光案内所



〈サービス〉

- ・観光案内
- ・無料Wi-Fi
- ・観光レンタサイクルの貸出、返却

行田市考里山町12-1 TEL.048-550-1611
【開館時間】9:30~16:30※冬期(12月1日~2月末)は10:00~16:00【開館日】毎日(12月29日~1月3日は休業)

行田おもてなし観光局公式SNS (インスタグラム・ツイッター) 随時更新中!



Instagram
https://www.instagram.com/gyoda_city_tourism_association



Twitter
https://mobile.twitter.com/gyoda_kankou



